

スタディ・メイト通信

令和 7 年 3 月
富山県教育委員会
教育みらい室特別支援教育課

特別支援教育課長 魚津 直美

近年、医療の進歩、特別支援教育への理解の広がり、障害の概念の変化や多様化など、特別支援教育を巡る社会や環境の変化に伴い、特別な教育的支援を必要とする子供たちが増加の一途をたどっています。発達障害等の特別な支援が必要な児童生徒が小・中・高等学校の通常の学級にも在籍しており、令和4年に富山県が策定した「特別支援教育将来構想」や令和5年の「2023年G7教育大臣会合 富山・金沢宣言」においては、全ての子供たちの可能性を引き出す教育の実現について述べられています。そのような中、通常の学級で特別な教育的支援が必要な子供たちを支援するスタディ・メイト(特別支援教育支援員)はこれまで以上に重要になってきます。

今年度は、新たに54名の方がスタディ・メイト養成講座を修了されました。本講座がスタートした平成18年度以降、988名の方々に受講していただき、今年度は小中学校等で509名の方がスタディ・メイトとして活躍しておられます。

すべての子供たちが能力を十分に発揮して、自立し社会参加することを目指し、幼稚園、小学校、中学校、高校、成人期と切れ目ない支援の一環として、さらにはインクルーシブな社会の形成の一端を担って、目の前の子供たちの成長に携わっていただいている皆様に感謝するとともに、より一層ご活躍いただけるよう、県教育委員会として今後も養成講座や研修会の充実に努めてまいります。



今年度のスタディ・メイト養成講座について

5月16日(木)の開講式から、8月26日(月)の修了式まで、全7回にわたり開催しました。

第1回 開講式・講義「発達障害の理解と支援～ティーチャーズ・トレーニング入門～」 (5月16日)

講師：臨床心理士・公認心理師 深澤大地先生

全ての子供に効果的な手法として注目されている「ティーチャーズ・トレーニング」を学びました。step1「心ではなく行動を見る」step2「肯定的な注目を与える」step3「してほしくない行動への工夫」について具体的な事例から取組のポイントを知ることができ、早速、担当している子供や我が子に実行してみようとする声が多く聞かれました

インクルーシブ教育だより「インクルーシブの窓」VOL39にも第1回の養成講座の様子を詳しく掲載しています。

<https://www.pref.to.yama.jp/documents/36039/vol39.pdf>



第2回 講義「スタディ・メイトの役割」・グループワーク (6月4日) オンライン

前半は、「スタディ・メイトの役割」についての講義、後半は、「こんなときどうする?」と題して、いくつかの場面を想定し、子供の行動のもつ意味と支援についてグループに分かれて、話し合いました。

県内4地域の特別支援学校を会場に、施設見学や授業参観、発達障害の疑似体験、事例検討など、実践的な研修を行いました。

にいかわ総合支援学校

LD等の疑似体験や事例検討では、子供の行動の背景にある困り感や気持ちを想像し、実践できる支援を見付けたり、座談会では、日々の悩み等について意見を出し合ったりする中で、「自分の対応について振り返る機会となった」などと感想が聞かれました。



しらとり支援学校

視覚的支援の工夫、効果的な伝え方・ほめ方などの講義や授業参加を通して、児童生徒の支援について研修しました。参加者の意見交換会では、研修を振り返り「一人一人に寄り添った支援が必要だと改めて感じた。」等の声が聞かれました。



高岡支援学校

発達障害の疑似体験やグループワーク、授業参観等を通して、児童生徒への具体的な支援の仕方について学びました。研修後、「子供の困難さを体験でき、明日からのポジティブな声掛けや褒めにつながりそう」などの感想が聞かれました。



となみ総合支援学校

不器用さ等の疑似体験や、授業参観で教員の支援を見ることを通して、教材の工夫や、個に応じた支援について学びました。「体験で子どもの気持ちを実感できた」「学んだ支援を実践したい」等の感想が聞かれました。



第5回 講義「小学校における支援の実際」・グループワーク

(7月26日) オンライン

講師：富山市立豊田小学校教諭 利波千聖先生

知的障害や発達障害の理解を、指示どおりに折り紙を折る演習を通して深めたあと、担任の視点からスタディ・メイトに支援を受けたい場面について教わりました。特別な支援が必要な子供たちに関わるときに大切にすること等を学びました。



第6回 講義「学校の実情と特別支援教育の今」・グループワーク

(8月8日) オンライン

講師：氷見市立上庄小学校長 濱本良子先生

全ての子供たちの可能性を引き出す「令和の日本型学校教育」を窓口に、学校運営で大切にしていることを具体的なエピソードを通して学んだあと、効果的な支援のために必要なことや、スタディ・メイト経験者の多くが難しいと話していた学級担任との連携等について教えてもらいました。校長先生からの「スタディ・メイトさんは、学校の大切な一員です。子供への支援で分からないこと、対応に困ったことなど、遠慮なく話してください。我慢は禁物」の言葉に多くの受講者が勇気もらいました。

講師：富山大学教育学部准教授 和田充紀先生

特別支援教育の概要と障害理解と特性に応じた支援の在り方について、多くの疑似体験により発達障害の特性をより理解できたり、「行動を褒める」「短く具体的に」「その場ですぐに褒める」「子供の喜ぶ褒め方で伝える」等、褒める際の大切なポイントについて実演を交えたりして、分かりやすく学ぶことができました。

受講者の声

★どうしても悪い行動に目が行きがちなので、良い行動に（目）向けていくことで、子供たちも褒められることが増えて、次につながるのかなと感じました。子供の行動（考え）を変えるのではなく、大人の行動（考え）を変えることが大事なんだと感じました。

★「ほめること」「待つこと」「計画的無視」など、すぐに実践しようと思える内容であった。担任の先生と連携をとりながら「最後に必ず褒める」ができるよう頑張りたい。

★できていないとき、困っているときに、子供たちに近付いて行きがちだが、できているときこそ子供たちと関わるチャンスと思って過ごしていきたい。

★担任の先生が集団を相手にする中で観察しきれない子供のよい部分やできている部分をできるだけたくさん見つけてあげようと思いました。子供たちの良い部分を見つけ、担任の先生と共有していきたいと思います。

★「失敗したら逃げ込むことができる場所」という講師の先生の言葉が印象に残りました。失敗や逃げはダメなことではなく、時と場合によっては必要。また、スタディ・メイトがその役割を担っているのかなと思いました。支援が必要な子も、必要がない子も、それぞれ必要とされている、周りから愛されているんだと思うようになってきたら幸せだなと思いました。

★講義を聞いて、先生にもっと聞いたり、相談したりしても良いんだと思いました。いつも話し掛けるタイミングが難しく、また、先生が忙しくされている中、こんな小さいことまで聞いている時間はないと思われないうらさうかと気になっていましたが、時間を見つけて先生とコンタクトを取ろうと思います。先生と連携が図れば、子供にとっても、自分の働き方にも良い方向につながると感じました。

★講師の先生のお話が分かりやすく、面白く、大変聞きやすかったです。自分が生徒になったような気持ちで、内容が心にスッと入ってきました。このように興味をそそるようなお話ができれば、子供たちにも伝わりやすく、良いコミュニケーションが取れるだろうなと思いました。

★グループワークでは、自分が抱えている支援の悩みを聞いていただけてスッキリしました。「これで良いのか」「もっと良い支援の仕方があるのではないか」「そもそもこれは支援なのか」と毎日悶々としながら子供たちと接していますが、それが自分だけではないことが分かり、少しホッとしました。自分とは違う視点から支援されている方もおられ、大変勉強になりました。いろいろ試してみながら、子供も自分も気持ちよく過ごせるような答えを探していきたいと思いました。

★自分の役割が明確になり不安な気持ちが自信に変わることができました。担任の先生との連携の大切さ、同じスタディ・メイトの先生との情報交換の大切さも学びました。講座で学んだことを生かして支援を必要とする子供が安心して学校生活を送ることができるよう勤めたいと思います。



スタディ・メイト研修会 講義「発達が気になる子どもに寄り添う支援」(11月11日)

スタディ・メイトの資質向上を図るため、現在活躍されているスタディ・メイトや養成講座受講者を対象とした研修会を開催しました。

講師に元特別支援学校長の柳田由紀先生をお迎えし、「発達が気になる子どもに寄り添う支援」と題しご講演いただきました。子供の行動の背景に目を向けた支援について、数多くの子供たちや保護者の支援に携わって来られたご経験をもとに、たくさんの事例から教えていただきました。講演後には、受講者で講演で心に残ったことの見解共有や日頃の業務等の情報交換を行いました。

受講者の声～心に残ったキーワード

- ・自己選択・自己決定(14) ・合理的配慮(11) ・本人の意思表示(5)
- ・私たちのことを私たち抜きで決めないで(4) ・みんなの心に寄り添う(2)
- ・生きる力を身に付けているかという視点 ・叱責より称賛が有効 ・セルフアドボカシー
- ・多様な学びの場 ・インクルーシブ教育システム ・授業のユニバーサルデザイン化
- ・できないところを見るのではなく、できるところに目を向ける ・支援の手掛かり
- ・スタディ・メイトは離れる時は離れる ()内は、キーワードを選んだ人数



令和7年度の予定



スタディ・メイト養成講座

【第1回】開講式・全体研修会

- ・日時 令和7年5月15日(木) 14:00~16:10
- ・会場 富山県総合教育センター(富山市高田525)

【第2回】全体研修会(オンラインによる受講)

- ・日時 令和7年6月10日(火) 14:00~16:10

【3・4回】実地研修

※実地研修校については、第1回にお知らせします。

※スタディ・メイト養成講座は、現在、スタディ・メイトとしてご活躍の方でも、講座を未修了であれば受講できます。また、第1回・第7回は、養成講座を受講済みの方も聴講することができます。

会場：特別支援学校(4校)

にいかわ総合支援学校(黒部市石田6682)
しらとり支援学校(富山市婦中町下邑2877)

高岡支援学校(高岡市東海老坂831)
となみ総合支援学校(南砺市利波河1335-5)

【第5回】全体研修会(オンラインによる受講)

- ・日時 令和7年7月25日(金) 14:00~16:10

【第6回】全体研修会(オンラインによる受講)

- ・日時 令和7年8月8日(金) 9:30~11:40

【第7回】全体研修会・閉講式

- ・日時 令和7年8月26日(火) 9:30~12:00
- ・会場 富山県総合教育センター(富山市高田525)

※スタディ・メイト養成講座の第1回と第7回は、幼稚園、認定こども園、保育所の先生方にも公開しています。詳細は、別途ご案内します。



お問合せ・お申込みは、
市町村教育委員会まで

スタディ・メイト研修会

- ・日時 令和7年11月14日(金) 14:00~16:30
- ・会場 富山県総合教育センター(富山市高田525)